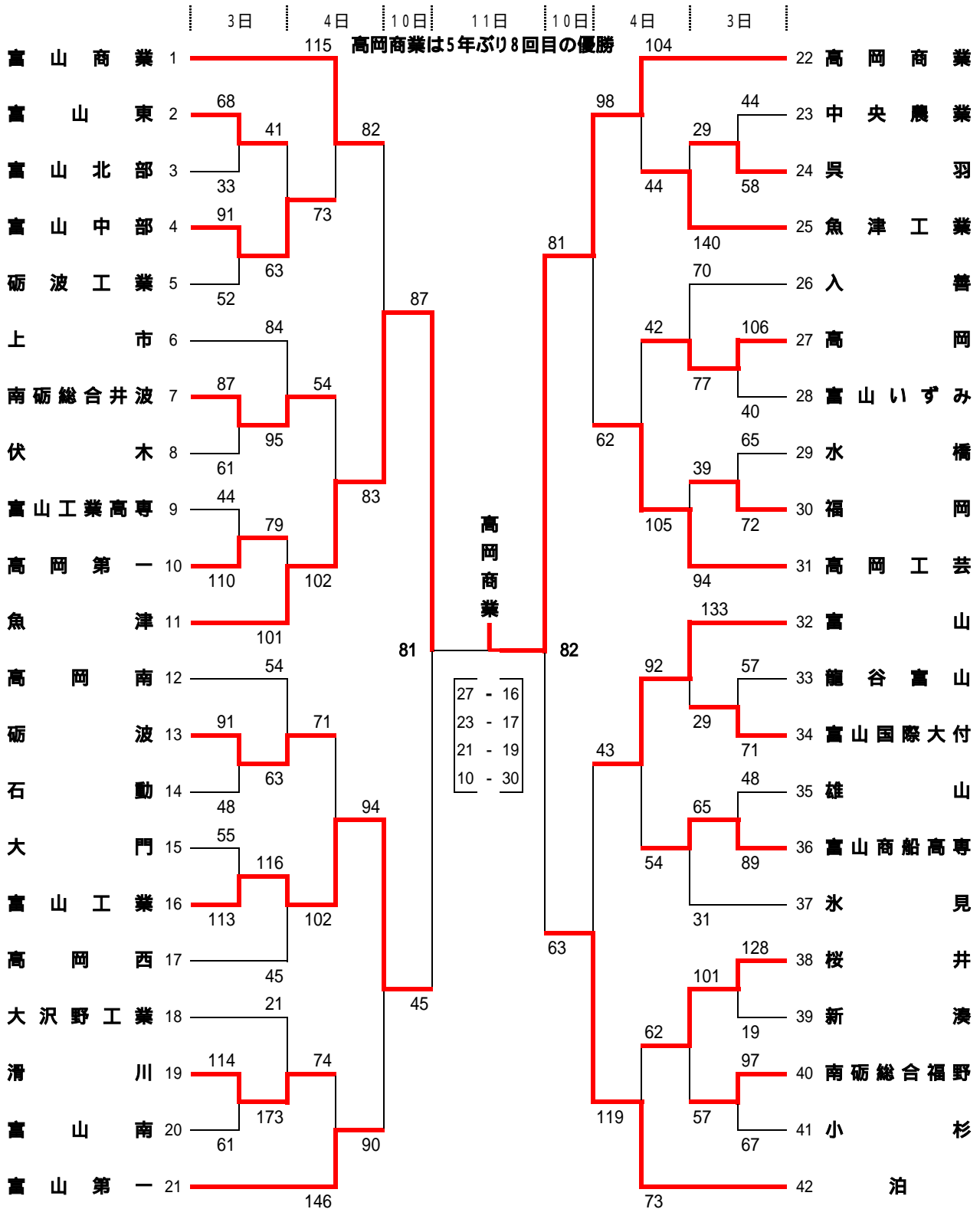


第38回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会富山県予選会試合結果

期 日 平成19年11月3日(土)・4日(日)・10日(土)・11日(日)

男子



平成 19 年度 第 38 回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会

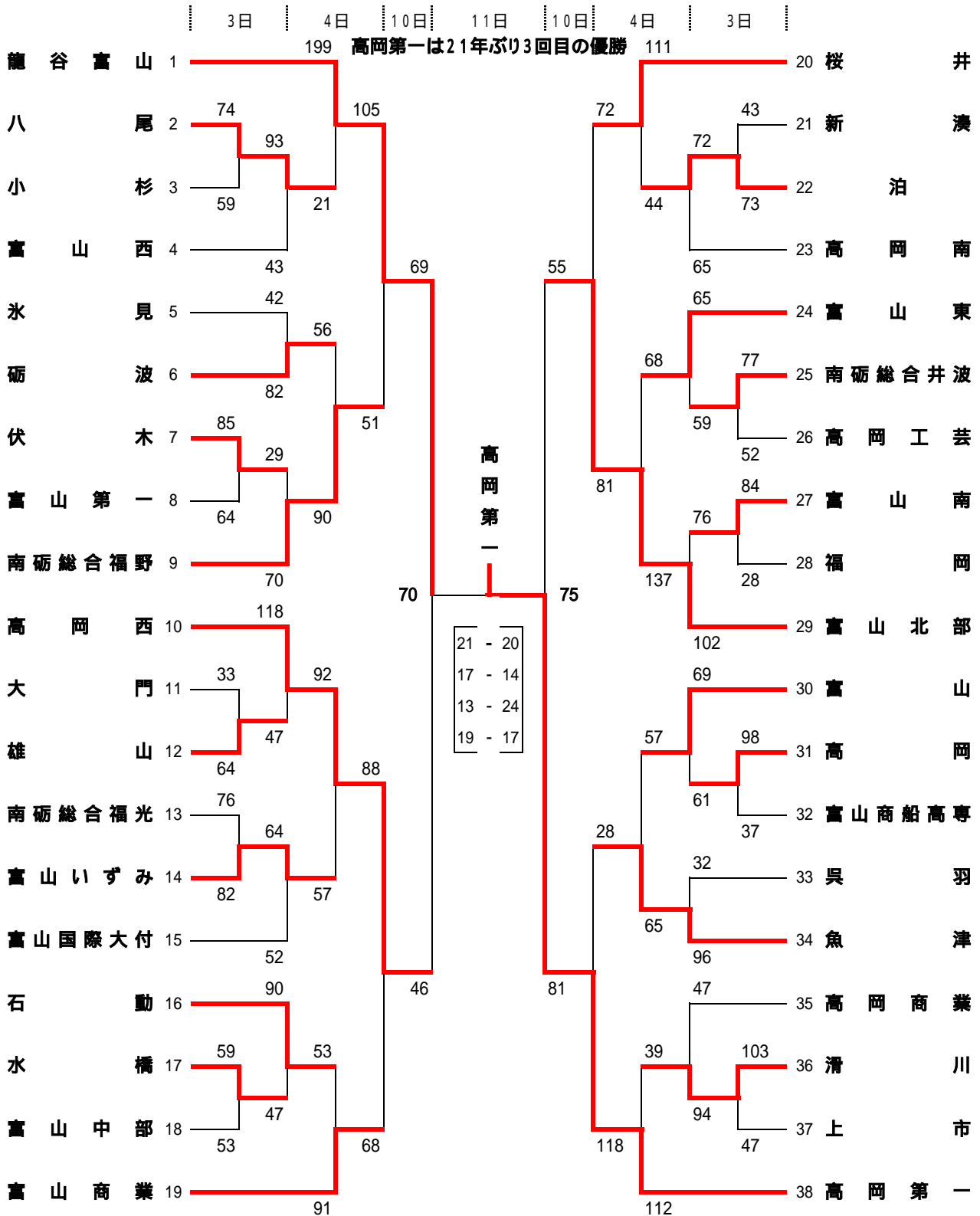
富山県予選会 選評

2007 年 11 月 11 日 (日)		会場：朝日サンリーナ										
男子 試合 P 2		決 勝 戦										
勝ちチーム 高岡商業	8 2	<table border="1"> <tr><td>1 6</td><td>2 7</td></tr> <tr><td>1 7</td><td>2 3</td></tr> <tr><td>1 9</td><td>2 1</td></tr> <tr><td>3 0</td><td>1 0</td></tr> </table>	1 6	2 7	1 7	2 3	1 9	2 1	3 0	1 0	8 1	負けチーム 魚 津
1 6	2 7											
1 7	2 3											
1 9	2 1											
3 0	1 0											
選 評												
<p>男子決勝は、準々決勝で第 1 シードの富山商業を破り勢いに乗る魚津と、5 年ぶりの優勝を目指す高岡商業の対戦となった。魚津はマンツーマン、高岡商業はオールコートのゾーンディフェンスでスタート。魚津は 3 ポイントを高確率で沈め、主導権を握る。対する高岡商業は のドライブを中心に攻めるが、外からのシュートが決まらず波に乗れない。第 2 ピリオドに入っても流れは変わらず、残り 3 分で魚津 がチーム 10 本目となる 3 ポイントを決め 14 点差。前半終了間際にも魚津 がリバウンドからドリブルで持ち込みレイアップシュートを決め、33 - 50 で前半終了。</p> <p>後半に入り、高岡商業は のドライブで得点を重ねる。ディフェンスをマンツーマンに変え、魚津の 3 ポイントを止めにかかるがリバウンドを確保できず、このピリオドも 5 本の 3 ポイントを決められる。第 4 ピリオド立ち上がり、高岡商業 が 3 ポイントを立て続けに決める。さらに が速攻からレイアップを決め、11 点差となったところで魚津後半 2 度目のタイムアウト。その後も高岡商業の勢いを止めることはできず、魚津は残り 6 分で最後のタイムアウトを取る。しかし、魚津はポイントガードの を徹底的にマークされ、攻撃の糸口がつかめない。高岡商業は速攻から が得点を重ね、残り 4 分ついに同点に追いついた。その後は一進一退の攻防が続き、残り 25 秒、魚津 が決め魚津の 1 点リードとなったところで高岡商業がタイムアウト。タイムアウト後、4 ピリオドの反撃の口火を切った高岡商業 が最後まで決めて逆転し、高岡商業の勝利。5 年ぶり 8 回目の優勝を飾った。</p>												
記録者：竹田 淳		所 属：富山県高体連専門部										
主 審：竹村 和敏		副 審：谷口 裕嗣										

第38回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会富山県予選会試合結果

期 日 平成19年11月3日(土)・4日(日)・10日(土)・11日(日)

女子



平成 19 年度 第 38 回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会

富山県予選会 選評

2007 年 11 月 11 日 (日)		会場：朝日サンリーナ	
女子 試合 P 1		決 勝 戦	
勝ちチーム 高岡第一	7 5	$\left(\begin{array}{cc} 20 & 21 \\ 14 & 17 \\ 24 & 13 \\ 17 & 19 \end{array} \right)$	7 0 負チーム 龍谷富山
選 評			
<p>県高校総体と同じ対戦となった両者。両チームハーフコートマンツーマンでスタート。両者ともインサイドやドライブで攻めるが思うように攻撃できない。高岡第一は # 4 辻、# 8 三箇の 3 P など得点し、龍谷富山も # 4 小森、# 5 野尻の 3 P で応戦。お互いの粘り強いディフェンスで第 1 P、21 対 20 で終了。第 2 P、龍谷富山はスクリーンを活かした攻撃とドライブインで加点、一方、高岡第一はドライブインからのあわせで # 8 三箇、# 7 小林の 3 P が立て続けに決まる。両チームともディフェンスから流れを作り、攻撃しようとするがリズムがつかめない。前半はミドルシュートの決定力の差で龍谷富山が 38 対 34 の 4 点差のリードで終了。第 3 P、早々に高岡第一は # 4 辻の連続 3 P やドライブインが決まり逆転。龍谷富山が 4 分にタイムアウト。龍谷富山はオールコートのプレスディフェンスに切り替えるが、高岡第一はリバウンドからの速攻、4 辻の 3 P で龍谷富山が 2 回目のタイムアウト。龍谷富山は 5 野尻のドライブインで応戦するが、高岡第一はパスカットからの速攻や激しいディフェンスでリズムを戻し、58 対 51 の 7 点差で終了。第 4 P、龍谷富山は 5 野尻のドライブで加点するがその後が続かず、残り 6 分で龍谷富山がタイムアウト、その後、オールコートのプレスディフェンスへ切り替えるが、高岡第一も早いパス回しでそれに対抗。残り 2 分、龍谷富山 5 野尻のドライブインで 2 点差となり高岡第一がタイムアウト、その後一進一退の攻防が続くが龍谷富山はファールトラブルから、高岡第一がフリースローで加点し、そのまま逃げ切った。この試合、高岡第一が 3 P を 11 本成功しこの差がゲームを左右することになった。</p>			
記録者：向 井 幹 雄		所 属：富山県高体連専門部	
主 審：安力川 剛 士		副 審：角 谷 樹	